

<p>授業科目 比較言語研究演習 II</p>	<p>単位 2 単位</p>
<p>授業担当者 長野 泰彦</p>	<p>授業期間 後期</p>
<p>授業の題目と概要</p> <p>チベット・ビルマ歴史言語学</p> <p>チベット・ビルマ系諸語は東・内陸アジアに広く分布する言語群である。この言語グループの歴史を再構成するプロセスを実際の言語データを用いて解説し、そこにおいて問題となる方法論的な諸問題を考える。</p>	
<p>授業の内容と計画</p> <p>院生の研究課題とある程度整合するよう、領域と関心のあり方を徹した上で内容を定める。教員による概説・データ分析の仕方を示した上、歴史研究と類型論や音響音声学の成果との突き合わせ方などを、データをもとに検討する。</p>	
<p>使用する参考書、参考論文等</p> <p>Matisoff: Handbook of Proto-Tibeto-Burman. Univ of California Press</p>	
<p>成績評価基準</p> <p>平常点による。</p>	
<p>その他の留意事項</p>	